災害復旧及び災害防止事業功労者推薦調書（記入例）

○枚中 ○枚目

推薦元（都道府県名等）	○ ○ 県
個人・団体の別	○個人 団体（いずれかに○を付す）
推薦順位	個人1位（個人1位、個人2位等と記入）
功労区分	(1) ○ (3) (4) (5) (10「功労の概要」の該当番号に○を付す)
氏名又は団体名	ほ さい た りゅう 防 災 太 郎
生年月日	昭和39年10月1日（60）歳
現住所及び電話番号	〒000-0000○○県××市△△町1-1-1 0 1 2 3（4 5 6）7 8 9 0
勤務先及び役職	○○調査設計株式会社
勤務先所在地及び電話番号	〒000-0000○○県◎◎市▲▲町2-2-2 0 1 3 2（4 6 5）7 8 0 9
元勤務先及び役職	○○土木事務所 所長
災害復旧及び災害防止事業従事年月数	25年
功労の概要	<p>氏は、昭和○○年に県に奉職以来、××年の永きにわたり、豊富な経験と卓越した見識をもち、本県の土木行政推進に大きな功績を残した。</p> <p>特に、昭和○○年○○月の台風○号による豪雨災害に際しては、○○土木事務所○○課主任として、被災した○○川の査定から、災害復旧助成事業の採択、さらに事業の実施から完了まで担当し、安全な地域づくりに貢献した。</p> <p>また、平成○○年には本庁○○課の課長補佐として、○月の梅雨前線豪雨による県下全域の大災害に対して、過去の知見を生かして陣頭指揮をとり、○○川の災害復旧助成事業、△△川その他多くの災害関連事業の採択に力を注いだ。</p> <p>さらに、令和○○年に○○地方を襲った震度5強の地震の際には、○○土木事務所の所長で現場の責任者として、人命救助を優先し、応急工事や土砂災害への対応を図るなど、災害現場において常に卓越した知識と経験を駆使して他の模範となり、県土の保全と民生の安定に尽くした。</p> <p>（10Pの文字でこの欄に納まる程度に、内容を絞ってご記入下さい。）</p>
過去の表彰歴及び その他参考事項	特になし
問い合わせ先（本庁の取りまとめご担当者）	TEL：◎◎県○○部◎◎課○○係 氏名 電話番号

- 令和7年9月1日現在で記入願います。
- 「元勤務先」とは、表彰に関連する土木行政等退職時の直近の勤務先をご記入願います。
- 「功労の概要」は、すべて書く必要はなく、代表的なものを中心に、要点のみ簡潔にご記入願います。
- 推薦書(電子書式)については、当協会のホームページ又は送付したメールから入手して下さい。その際、書式のフォント、セルの長さ等是不変で下さい。